

調査結果の概要と分析、改善策について

丹波市立和田中学校

【分析にあたって】

5月27日（木）に実施された本年度の全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校は、国語・数学ともに全国平均を上回る良好な結果でした。平成29年度の指定研究「学力向上プロジェクト事業」以来、継続して取り組む「生徒の主体的な学びを大切にしたい授業づくり」の成果と考えられることから、結果から読み取ることができます。

しかし、本調査で測ることができるのは学力の一部でしかありません。また、小規模校である本校では、生徒1人の正誤によって結果が大きく変わってきます。したがって、正答率等の数値のみにとらわれるのではなく、生徒の学力の傾向を適切にとらえ、苦手な部分を補い、得意な部分をさらに伸ばす教育活動を引き続きすすめていくため、この調査結果を活用したいと考えます。

【調査概要】

- 実施日 令和3年5月27日（木）
- 実施教科 国語、数学
- 対象学年 3年生



【各教科の結果から】

※本文中の「p」は本校と全国の平均の差の単位
本校 80.5% 全国 72.5% のとき 差は「+8.0p」と表記

<国語>

（問題4三） 全国との差：+39.0p
問題：「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する
正答：「伺う」「参る」または「ご訪問する」「お訪ねする」など状況に合う言葉

全国的な傾向では、「条件に合わせて自分の考えを記すこと」や「敬語を使う力」が不十分と分析されているが、本校の正答率は全国を大きく上回っている。伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については、生徒のまじめに課題に取り組む姿勢と相まって、どの設問についても正答率は高い。

（問題3三） 全国との差：-8.9p
問題：「反対の結果を呈出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す
正答：「彼は嘖然として大息している」
※問題文は文部科学省 HP 参照

他の領域に比べ、「読むこと」に課題がある。視覚的に刺激の多い、内容の分かり切ったものに触れる機会が多く、行間を読んだり、文字から想像したりする力が十分ついていないと考えられる。

また、学校での読書や図書室の利用が減っている影響も一因であると考えられる。

<数学>

（問題1） 全国との差：+16.0p
問題： $(5x+6y)-(3x-2y)$ を計算する
正答： $2x+8y$

整式（文字式）の計算については正答率が高く、基本的な計算技能の定着がみられる。また、表やグラフから必要な情報を読み取ったり、中央値を求めたりする等の基礎用語や基本技能を確認する問題についても正答率は高い。毎授業時における既習事項の学び直しや家庭での自主ノートの取組による学習の積み重ねが奏功していると考えられる。

（問題7(2)） 全国との差：-10.5p
問題：与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する
正答：y座標が120のときのx座標を読む 等
※問題文は文部科学省 HP 参照

与えられた表やグラフから必要な情報を読み取ることに比べ、数学的な表現を用いて問題解決の方法を説明することには課題がある。無解答率もすべての問題の中で最も高い（20.7%）。

数学的な表現を用いて説明することは、論理的な思考を大切に数学のよさを知る上で、たいへん有用な手法である。

【質問紙調査から】

<挑戦心・自己有用感>

質問事項	肯定的回答	全国との差
将来の夢や目標を持っていますか	67.7%	-0.9p
難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか	54.8%	-11.1p
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	100.0%	+5.0p

- すべての生徒が、何らかの形で「人の役に立ちたい」と考えています。
- 困難なことにも「積極的に関わる挑戦する」姿勢を育む取組を充実する必要があります。

<学習習慣>

質問事項	肯定的回答	全国との差
計画を立てて勉強していますか	70.9%	+7.5p
質問事項	1～2時間 2時間以上	全国との差
平日にどのくらい勉強していますか	96.8% 25.8%	+20.9p -16.0p
休日にどのくらい勉強していますか	100.0% 42.0%	+7.5p -11.5p

- 計画的に学習に取り組む生徒が増えています。（H31 調査では全国との差 -10.4p）
- 普段1時間以上学習に取り組む生徒は多いものの、2時間以上となるとその数は激減します。このことと調査結果を合わせて考えると学習内容の定着のためには、学習時間の長さより学習に向かう姿勢や学習方法の工夫が、より大切になってくることが伺えます。

<主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善>

質問事項	肯定的回答	全国との差
話し合う活動では、内容を理解して相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えを伝えていましたか	90.3%	+6.6p
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	90.3%	+9.3p
各教科などで学んだことを生かし、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか	51.7%	-7.8p

- 課題解決に向け自分で考え、取り組む生徒が増えています。（H31 調査では全国との差 -6.3p）
- 学んだことを生かして新しいことを考えたり、深めたりする活動を充実したいと考えます。

【今後の取組（指導改善のポイント等）】

<国語>

- 新聞の社説やコラムなど、語彙の充実した文章を読み、文字から想像する力を育みます。
- 自分の意見を100字程度でまとめる等、書く活動を取り入れます。特に意見文を書く場合は、テーマについて話し合った後に書くような手立てを講じます。
- すべての学びの元になる「読解力」の向上を図ります。

<数学>

- 説明・発表する前にノートに自分の考えを数学的な表現を用いてまとめる時間をとります。
- 身近な題材を教材とし、数学を活用してその課題解決に取り組む学習を充実します。
- 問題演習の際には、個人で取り組む時間と並行して、生徒間で教え学び合う時間を確保します。また、タブレットの活用を含め、習熟度に応じた課題に取り組む機会を充実します。

<教育活動全般>

- 先進校の取組を生かし、自分で学習課題を設定し、「いつ」「何を」「どのくらい」学習するのかを決め、主体的・計画的に学習に取り組む姿勢を確立します。
- 学校行事や日常の生徒会活動の中で、生徒が主体的に活動する機会を充実します。自己有用感を育むとともに、安心安全な学校づくりをすすめます。
- 国語・数学の課題や成果をすべての教職員で共有し、全教科の授業改善につなげます。